

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	八ヶ岳少年自然の家	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 一般社団法人富士見町開発公社 ・代表者名 理事長 名取 重治 ・所在地 長野県富士見町富士見6666番地703	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 92,821 人 (平成30年度:98,421人)	②年間延べ利用団体数 602 団体 (平成30年度:648団体)
収支実績	単位:円	
	<b>1 収入</b> 指定管理料 261,082,000 利用料金収入 7,344,680 環境収入 2,108,574 その他収入(食堂他) 92,778,403 補償金 188,061 合 計 363,501,718	
	<b>2 支出</b> 人件費・賃金 115,786,462 光熱水費 39,093,878 委託費 29,456,366 備品購入費 3,236,342 消耗品費 6,538,545 商品仕入れ費 76,494,519 修繕費 13,002,278 その他経費 70,872,056 合 計 354,480,446	
	<b>3 差引</b> 9,021,272	
サービス向上の取組	利用者にアンケートを行い、意見を取り入れた活動を行っている。また、自然教室のプログラムの一環として、地元農家と連携して田植えや稲刈りの体験を実施するなど、サービス向上に取り組んでいる。	

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	(評価の理由) ・概ね計画通り、事業が実施されていた。施設全体の安全衛生管理にきめ細かく注意を払い、特に野外炊飯やキャンプファイヤー等、火の取扱いの必要なプログラムでは、利用者としっかり打合せをしてお丁寧に対応している。また、主に周辺住民向けの「ふじみ星空観察会」や、自然教室に付き添い指導員向けの講習会などの各種主催事業も実施している。 ・利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした外出自粛などの影響もあり、前指定管理時平均と比較して、約3%減少した。 【参考】第2期指定管理時(平成23年度～平成26年度 ※平成27年度は休止期間があったため平均算定から除外)平均延べ利用者数:96,066人				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由) ・金銭管理・会計手続について、規則等に従い、財務ソフト専用のパソコンによって適切に処理されている。また法人における独自の会計監査を月次及び年次で行っており適正な事務に努めている。 ・効率的・効果的な支出について、照明のLED化や、漏水配管の補修工事を行ったことにより、光熱水費の削減を進めた。				

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>施設ホームページについて、季節に応じた様々な情報をこまめに更新するなど定期的な広報を行った。スポーツ団体の遠征合宿を誘致するため、利用学校の監督や指導者への積極的声掛けを行った。</li> <li>利用者への対応について、接遇マニュアル、苦情対応マニュアルを定めており、利用者に対する接遇が適切に行われた。</li> <li>学校及び行政機関との連携について、富士見町役場等と連携して川崎市と富士見町の小学5年生同士の交流事業に協力するなど、事業に取り組んでいる。</li> <li>利用者ニーズについては、利用者アンケートのほか、センターハウスと星の棟に設置した意見箱などを用いて、積極的に利用者ニーズの把握に努めた。そうした利用者ニーズの中から、浴室に洗面や棚の掃除用のゴミ取りローラーを設置したり、近年需要が増えている小浴室に介助椅子や混合栓設置などの整備を行った。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置について、計画どおりに、職員を採用・配置している他、利用者のケガなどに迅速に対応するために看護師を配置している他、自然体験活動における安全確保のため、CONE(自然体験活動推進協議会)リスクマネージャー認定取得を進めている。</li> <li>職員の研修体制について、新型コロナウイルス対策として、看護師を講師とした衛生面に関する研修会を実施し、職員の衛生管理対応の実践的な知識向上に努めている。</li> <li>個人情報の取扱いについて、個人情報保護規程を遵守している他、個人情報保護について、全職員を対象に勉強会を実施した。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	防犯対策	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか	5	3	3
		施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害への対応	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理について、修繕計画を策定して計画的な修繕に努めた他、計画外の突発的な破損などによる修繕についても、臨機応変かつ迅速に対応した。</li> <li>利用者の安全確保について、各安全マニュアルの改訂作業を行うとともに、月1回程度、安全衛生委員会を開催し、ヒヤリハット対策や危険箇所等の対応策を確認している。利用者の活動場所、導線の点検は日々職員が手分けして行い、悪天候後の倒木や通路の破損など危険箇所の点検を実施した。</li> <li>災害への対応については、危急時対応マニュアルの改訂作業を行い、土砂災害緊急対応についての部分を整理するほか、台風発生時に危険支障木の除去や大量の落葉処理などについて迅速に対応した。</li> </ul>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
 E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

八ヶ岳の豊かな自然を活かした様々な事業を展開し、広大な敷地と老朽化の進む施設の管理について、きめ細かく対応している。  
 また、施設修繕についても、屋内の破損箇所のみならず、自然教室に参加している児童が夜間通行する、アストロハウス前の舗装劣化箇所などを改善するなど、事故を未然に防ぐための改修を進めている。  
 利用者の安全確保に関しては、職員の安全に対する意識、危機管理意識の向上のため、自然体験活動における安全管理の民間資格取得を進めるほか、外部の野外活動の安全アドバイザーの月1回安全衛生委員会の参画また看護師職員の研修会などによる保健衛生面の職員への対応指導などにより継続的な意識付けがなされている。  
 新型コロナウイルス対策として、看護師資格を持つ職員による衛生管理の研修を実施や職員の衛生管理の認識向上に努めるとともに、手指消毒、予防啓発の掲示、ドアノブなどの多数が触れる箇所の消毒など感染防止対策を適切に行っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

平成27年度に発生した事故の教訓を風化させることなく、引き続き、事故防止、災害や緊急時の適切な対応、衛生管理の徹底等、利用者にとって安全・安心に楽しめる施設となるよう、法人全体で適切な施設運営に取り組むこと。自然教室やスキー教室などの学校との連携事業については更なる事業の充実を図るとともに、安全な事業実施、アレルギー・感染症対策などの衛生面での連携についても常に改善を意識し取り組むこと。